

東京電力株式会社福島第一・第二原子力発電所の立入調査結果について

1 調査目的

福島県及び大熊町、双葉町、楡葉町、富岡町は、福島県原子力行政連絡調整会議専門委員の指導・助言のもとに、「原子力発電所周辺地域の安全確保に関する協定」第 8 条に基づき、東京電力(株)福島第一原子力発電所及び同福島第二原子力発電所の保守及び管理の状況について、下記により立入調査を行った。

2 調査日程

- (1) 平成 1 4 年 2 月 5 日(火) 東京電力(株)福島第一原子力発電所
(調査機関) 福島県、大熊町、双葉町
(立会機関) 楡葉町、富岡町
- (2) 平成 1 4 年 2 月 6 日(水) 東京電力(株)福島第二原子力発電所
(調査機関) 福島県、楡葉町、富岡町
(立会機関) 大熊町、双葉町

3 調査事項

- (1) 運転・保守管理状況について
 - 各号機の運転状況
 - 各号機の定期検査の実施状況
 - トラブル等の再発防止対策
 - 品質保証活動の実施状況
- (2) 放射線管理状況について
 - 放射線業務従事者の被ばく管理状況
 - 被ばく低減化対策の状況
- (3) 放射性廃棄物管理状況について
 - 放射性気体・液体廃棄物の放出管理状況
 - 固体廃棄物の保管管理状況
 - 環境施設の管理状況

4 調査結果の概要

今回の立入調査は、主として、平成 1 3 年 1 月から 1 2 月までの期間を対象として、各プラントの運転・保守管理、放射線管理、放射性廃棄物管理等の状況について調査を実施した。

平成13年においては、福島第二原子力発電所3号機でシュラウド下部リング溶接部近傍にひび割れが発見され長期間停止した他は、両発電所ともほぼ計画どおりに運転されており、調査の範囲では、運転・保守管理、放射線管理、放射性廃棄物管理等の面で特に問題となる点は認められなかった。

また、発生したトラブル等については再発防止対策の徹底を図るとともに、平成13年11月に発生した中部電力(株)浜岡原子力発電所1号機のトラブルに関しても、国の指示に基づき、予防保全対策等の対応に努めていた。

福島第一原子力発電所においては、1号機のシュラウド他取替工事が終了したが、先行した各号機の実績を踏まえ、種々の被ばく低減対策について改善を進めた結果、当初の目標線量を下回る実績となった。また、平成12年12月から実施している1号機の第22回定期検査より、高経年化対策として長期保全計画に基づく点検を実施していた。

福島第二原子力発電所においては、3号機シュラウド下部リング溶接部近傍のひび割れや2号機中間領域モニタ中性子束高信号による原子炉自動停止等のトラブルが発生したが、再発防止対策に取り組んでいた。

福島第一原子力発電所、福島第二原子力発電所の共通事項としては、次の点について引き続き努めていくことが望まれる。

(1) ヒューマンエラー防止対策について

誤操作によるトラブルを未然に防止するため、風土改革等について、引き続き企業として地道な努力を根気強く続けていくとともに、フェイル・セーフ・システムやインターロック・システムの採用等のハード面の検討を含め、今後ともヒューマンエラー防止対策の充実・強化に努めていくことが必要と考えられる。

(2) 迅速でわかりやすい情報の提供について

トラブル等の情報公開に当たっては、迅速で県民にわかりやすい情報の提供に今後とも努めていくことが必要と考えられる。

(3) トラブル等に関する再発防止対策の水平展開について

中部電力(株)浜岡原子力発電所1号機のトラブルについては、現在のところ原因調査中であるが、予防保全に万全を期すため、他発電所のトラブル等についても可能なところから再発防止対策の水平展開に努めていくことが必要と考えられる。

最後に、原子力発電をとりまく社会環境は、東海村の臨界事故、英国BNFL社のMOX燃料データねつ造事件等を経験し、より厳しいものとなってきている。原子力発電において、安全確保はもとより、県民の『安心』と『信頼』の回復に向けた不断の努力が求められるところであり、発電所の運転・保守に直接関わる事業者や協力企業に対して、改めて、安全管理の徹底と品質保証活動のより一層の推進を要請するものである。

(担当 原子力安全対策課安全対策係 内線2803 直通024-521-7254)

【立入調査員等氏名】

東京電力(株)福島第一原子力発電所 平成 14年 2月 5日実施

(調査員)	福島県原子力行政連絡調整会議	専門委員	能澤	正雄				
		専門委員	平野	見明				
		専門委員	田中	俊一				
		専門委員	穴戸	文男				
		課長	高倉	吉久				
		課長補佐	河津	賢澄				
		主査	富永	幸宏				
		技師	加藤謙太郎					
		所長	石井	輝雄				
		主任主査	遠藤	光義				
(立会者)	福島県原子力センター	課長	鈴木	茂				
		主任主査	秋本	昌寿				
		課長	高野	泉				
		主任主査	大住	宗重				
		(立会者)	大熊町企画調整課	主査	松本	智幸		
				主任主査	佐藤	臣克		
				(立会者)	双葉町企画課	主査	松本	智幸
						主任主査	佐藤	臣克

東京電力(株)福島第二原子力発電所 平成 14年 2月 6日実施

(調査員)	福島県原子力行政連絡調整会議	専門委員	能澤	正雄				
		専門委員	平野	見明				
		専門委員	田中	俊一				
		専門委員	穴戸	文男				
		課長	高倉	吉久				
		課長補佐	河津	賢澄				
		主査	富永	幸宏				
		技師	加藤謙太郎					
		所長	石井	輝雄				
		主任主査	遠藤	光義				
(立会者)	福島県原子力センター	課長	遠藤	一教				
		主任主査	松本	智幸				
		課長	三瓶	哲郎				
		主任主査	佐藤	臣克				
		(立会者)	大熊町企画調整課	主任主査	秋本	昌寿		
				主任主査	大住	宗重		
				(立会者)	双葉町企画課	主任主査	秋本	昌寿
						主任主査	大住	宗重